



2024-25年度 D-2700 No. 9 2024年10月4日

小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“ロータリーのマジック”

R I 会長：ステファニー・アーチック 氏
(所属：米国ペンシルバニア州/マクマリーRC)

地区テーマ：“変化につよく、未来をひらく”

地区ガバナー：野崎 千尋 氏(所属：小郡RC)
クラブテーマ：“ATMで幸せにしよう！”

会長 佐竹 信也 / 幹事 増田 雄一



表紙写真(銀座の歩行者天国)

銀座四丁目交差点の角に立つ、旧服部時計店(現・株和光本店)です。銀座のシンボル的存在となっています。

【撮影：上野 禮一 会員／東京にて／令和6年8月】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、お問い合わせ用》



例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：合馬誠一 副委員長：柳本英生

委員：豊川智彰、瓜生資識、宮崎幸雄、甲斐秀一、鬼丸有正、藤嶋祥二、森下浩文

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日の例会 第3607回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・会員卓話

住友商事九州(株) 北九州支店長
地久里 齊之 氏

があります。1958年(昭和33年)青少年育成のために設立され、門司区内の高等学校在学生に対し、返還義務のない奨学金を給付しているもので、1960年の給付開始以来、奨学生は169名を数えています。

さて、当時は式典の後、出光佐三氏の孫にあたる青山学院大学教授で、(公財)出光美術館理事長の出光佐千子さんの記念講演『美にリードされてきた人生：出光佐三と仙厓』がありました。*仙厓：江戸時代の禅僧、画家お話の中で特に印象に残ったのは、出光佐三氏の“人、人を呼ぶ”いい人がいい人を呼んで、いいグループが出来る。”という言葉で、まさにロータリーがそうではないかと思いました。

そして、講演後には祝賀会がありましたが、ここで、他クラブの周年行事に出席した際の対応(祝儀)についてお話しします。2022年3月4日の当クラブ理事会におきまして、子クラブの周年行事の場合には、当クラブより5万円の祝儀を出す、という決定がなされています。当クラブの子クラブは、設立順に山口RC・若松RC・八幡RC・小倉東RC・豊前RC・小倉西RC・小倉中央RCの7クラブあります。今回の門司RCの場合は、子クラブではありませんので、当日の会費以外に特段のお祝はしておりません。

なお、式典前日の夜には、90周年の記念事業として、甲宗八幡神社能楽堂において夜能が執り行われ、増田さんが出席されました。

今日は、門司RC創立90周年記念行事についてお話ししました。次回は、先日社会奉仕委員会から寄付をしたとの報告がありました「更生保護法人湧金寮」についてお話しする予定です。

第3606回 例会 記録

9月27日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・卓話
高野山真言宗遍照院 副住職 田中 本泰 氏

会長の時間

佐竹 信也 会長

「門司RC創立90周年記念式典」について

9/22(日)に門司RC創立90周年記念式典・祝賀会がプレミアホテル門司港で開催され、増田幹事と私が出席しましたので、そのお話をしたいと思います。

門司RCは、1934年(昭和9年)9月25日創立で、国内では12番目、九州では福岡RCに次ぐ2番目のクラブであります。初代会長は出光興産の創業者である出光佐三氏で、チャーターメンバーの一人には安川財閥の創始者である安川敬一郎氏の次男、松本健次郎氏がいまして、後に当時の地区ガバナーに就任しています。活動の中で特色のあるものとして、門司RC奨学金制度

出席報告

棟安 委員長

2024年7月5日：66名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ	出席率
当日の出席	70名	45名	—	70.31%
先週の出席	70名	36名	22名	81.82% 修正後

◆ゲスト 1名（卓話者）

◆ビジター 0名

寄付

ガバナー公式訪問での節食ランチに対し、「認定 NPO 法人 抱樸」へ寄付を行いました。



▲専務理事 森松 長生 氏

委員会報告

ロータリー財団委員会

松本 委員長

ポールハリスソサエティ (PHS) とポリオプラス・ソサエティ (PPS) のご案内をさせていただきます。第 2700 地区では各クラブに対し、年次基金寄付一人当たり 150 ドル、ポリオプラス寄付一人当たり 30 ドルを目標設定として（ここ数年）掲げています。これらの実現の下支えとして PHS と PPS のプログラムがあります。PHS は、毎年 1,000 米ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金など財団が承認した寄付へ拠出することをお約束した方を認証するプログラムです。同様に、PPS は、毎年 100 米ドルをポリオプラス基金へ寄付することをポリオ根絶までお約束いただく方を登録いただくプログラムです。ともに登録証とメンバーのピンバッジを受け取っていただきます。

入会をご検討いただける方は、事務局または私までお声掛けください。ご協力をよろしくお願ひいたします。

卓話

高野山真言宗遍照院 副住職

田中 本泰 氏

『仏像に学ぶ～僧侶が話す仏像の見方』



月信デジタルブック

[2024-25]月信 10月号

下記 QR コードからアクセスしてください。



https://www.azusashoin.com/e-book/bookshelf_gesshin

次回例会予告

10月18日（金）普通例会

・ロータリーソング “我等の生業”

・米山獎学生の卓話

産業医科大学医博課程医学部医学専攻

チバタル エンヘムルン 氏

